

KORYO

みなさんと共に「いい町」づくり

奈良県広陵町  町勢要覧 2019

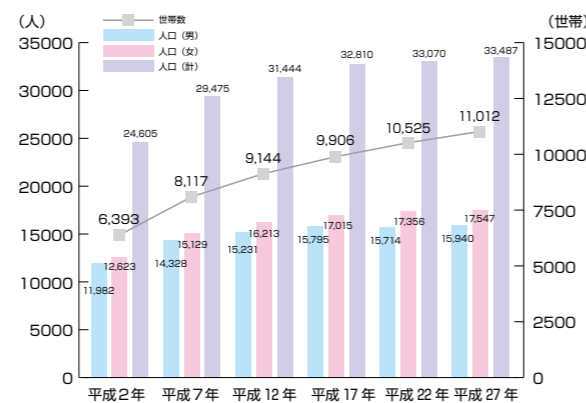


KORYO

みなさんと共に「いい町」づくり

CONTENTS

- 04 広陵町で暮らす人々
松田さん / 青木さん / 吉留さん / 林さん
- 08 広陵町の教育と子育て
広陵町の教育の特徴 / 子育て支援
- 12 健康に生涯挑戦のヒケツ
広陵介護予防リーダー（KEEP） / 通いの場
/ ふれあい・いきいきサロン
- 14 絆を深める地域の行事
広陵かぐや姫まつり / 町内イベント
ガイド / 地域の防災活動
- 18 広陵町の世界に誇る産業
日本酒 / プラスチック / 靴下
- 20 生産者の顔が見える故郷の味
農業をめぐる現状 / 広陵町の農業の歴史
- 22 暮らしのなかで感じる自然
竹取公園 / 馬見丘陵公園 / かつらぎの道
広陵パークゴルフコース / 横峯公園
- 24 出「愛」のある図書館
蔵書数が県内の町でNo.1 / 時代に合った
サービス / かぐや café
- 26 広陵町の文化遺産
文化遺産
- 30 広陵町をもっと知る
人口 / イメージキャラクター / 財政など
- 32 ACCESS
広陵元気号 / 箸尾駅
- 34 KORYO PHOTO SP ♥ T.
町内のフォトスポット / 町内の桜の名所
- 36 昔も今もこれからも
広陵町の年表 / 広陵町議会



▲人口・世帯数の推移（資料：国勢調査）

勢要覧にあります。広陵町のステキな「色」を一冊にまとめた町勢要覧を、ぜひお楽しみください。

人口、約35,000人。この数字は、奈良県内の町村では、一番高い数字です。近年、どこの市町村でも人口減少が起きています。しかし、広陵町は人口が増え、平成28年には、35,000人に到達しました。

当然ですが、世界中探してもまったく同じ人は存在しません。一人一人が違う思想や趣味、文化つまり「色」を持っています。よって、人口が奈良県内の町村で一番多い、広陵町は、他の町村よりもさまざまな「色」を持っている地域と定義しても過言ではないのではないのでしょうか。

それでは、具体的に広陵町の「色」とは何色なのでしょうか。

赤色でしょうか。
青色でしょうか。
緑色でしょうか。
その答えは、この広陵町

広陵町って何色。



四季折々の自然と人の優しさが生きる町



西谷公園にて撮影

松田 涼平さん(会社員)

豊かな自然がある
広陵町で子育てを

妻が生まれ育った広陵町に移住しました

大

学まで過ごした阪神間は
大好きな街ですが、子育て

をするなら妻の実家がある広陵町がいいと移住を決めました。私の親は通勤時間を心配しましたが、大阪市内の職場まで1時間もかからず、東京に赴任していた頃に比べるとゆったりしていた

ます。

引越してまだ半年ほどですが、ご近所の方がとても親切にしてくださるし、地域のお祭りや防災訓練で顔見知りになることも多く、子育て世代の友達もできました。人とのつながりができると安心ですね。

広陵町で育った妻が子どもの頃、休みの日には家族でお弁当持参で馬見丘陵公園や竹取公園に遊びに行っていたそうです。その帰りに図書館に寄るのが定番で本が好きになったと聞いています。きっと私たちも同じような休日を過ごすと思います。近所に住む義父母も誘って三世代で楽しみたいです。

身近に自然がある素晴らしい環境で子育てを楽しみ、子どもの成長を見守りたいと思います。



▲きれいな空気の広陵町でのびのび育っています



青木 康晴さん(和菓子店 菓子安)

地元密着型の商売でまちを元気に

子どもたちに対して大人がやさしく見守るまちです

子

どもの頃は、年齢は関係なくみんな一緒に池で魚釣りをしたり、あぜ道を走り回ったり、まちじゅうが遊び場でした。そんな少年たちが、ある程度の年齢になると青年団に入っ

て、目上の人への言葉づかいやお茶の出し方など、大人としての礼儀を教わります。一番大きな

行事は、11月2日・11月3日にある戸閉(とた)て祭。この箸尾地区に4つあるだんじり、その宮入の準備のために集まります。この祭りがあから町がまとまるのかもしれない。

自治会がしっかりしていて、新しい人を快く受け入れる気質なので、引越してきたばかりの

人でも祭りや防災訓練をきっかけに親しくなれます。自警団や消防団もあって、人のつながりが厚く、あたたかいのです。消防の現場で、見知らぬ人が飲み

ものを差し入れてくれたり、炊き出しをしてくれたり。子どもに対して地域で見守る姿勢があつて安心できます。



◀昔ながらのみたらし団子



当店は江戸後期の創業で、みたらし団子は初代の味を今に受け継いでいます。元々、百姓が古米を粉に加工して餅にした庶民の味。この味と共に、人情も伝えていきたいですね。

安心して暮らせる町だから 定住を決めた



吉留 倫子さん (真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園 PTA 会長)

横峯公園にて撮影

近隣に住む兄夫婦にすすめられて 東京から転居しました

夫

が転勤族なので、子どもが小学校に入る前に定住の地を決めたいと考えていました。そんな時、近隣に住む兄夫婦に、「治安が良く安心して住める」広陵町を勧められました。

都内のマンションだと子どもが騒ぐと音が気になるし、かといって外遊びをする場所も多くありませんでした。今は、公園がたくさんあって、遊び場所も選び放題。1日に3つ、4つと公園のはしごをすることもあるほどです。草花や虫にも親しめて、自然の中で遊びを満喫しています。

引越して二年目で、PTA会長の引き受けることになりましたが、いろんな人と知り合えて地域のことを教えてもらえ、とてもいい経験をさせていただいています。



▲通園路で見かける草花や虫の名前も覚えめました

最近、兵庫県から母を呼び寄せて同居を始めました。母も広陵町をとても気に入っていて、公民館で習い事したりして、少しずつ町に慣れていっています。強いて要望を言うと、町内の道が所々狭かったり、信号がない交差点が目立ったりするので、ファミリーカーでも通行しやすい道の整備や歩道・自転車道の確保など、あらゆる世代に優しいまちづくりをしてほしいですね。

地元産の美味しいお米をみなさんに届けたいです

会

社勤めのかたわら、両親の田んぼを手伝っていました。が、近隣農家の高齢化に伴って引き継いでほしいと頼まれることが多く、耕作面積が増えたため、退職して農業に専念しています。昔は、この辺りは一面に広がる田園風景が、初夏は緑、秋は黄金色に輝いて、とてもきれいでした。大好きなこの風景を復活させたい、守りたいという思いもあって、耕作放棄地にならないように、できる限り引き受けるようにしています。

今は約22ヘクタールの土地で、ヒノヒカリを中心に栽培しています。土が粘土質なので肥料の吸着が良く、厚みのある米粒になり、ふっくら炊き上がります。

親から受け継いだ米穀店は、妻が切り盛りして、自分の田んぼで作った米だけを販売。注文を受けてから精米して新鮮なものをお渡ししています。まだ口コミだけなので、より多くの人に知ってもらおうとチラシ



のポスティングなど、PR活動も始めました。
美しい田園風景を守るためにも、新規就農者は増えてほしいですね。10年後では技術の伝承ができません。今、やらないと、と思います。

美しい田園風景を 未来に残したい



林 正樹さん (農業、酒米穀店 林商店)





「広陵町に住んでよかった。」

そんな思い出の地に。



▲4月1日開園当初の外観



▲同年9月4日に園庭ができ、全てが完成しました

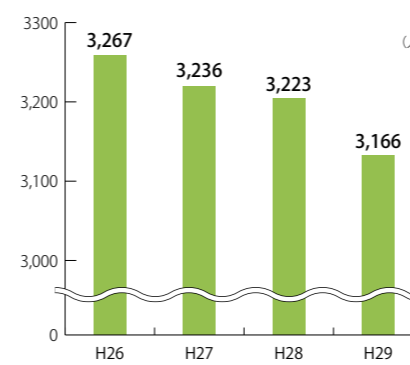
平成30年4月に開園した広陵北かぐやこども園は、幼稚園と保育所の双方の良さを併せ持つ施設です。0歳児から就学前までの子どもを預かり、教育と保育を一体的に行います。

自園での、完全給食を実施するなかで、安心・安全な食の提供と食育活動に努めています。

また、体育あそび、英語あそびなどさまざまな活動を取り入れ、豊かな体験ができる学びの場も作っています。

「見る」、「聴く」、「触れる」など、たくさんの方に好奇心をもって挑戦する心を育てています。

幼保連携型認定こども園



▲小学校・中学校 児童生徒数の推移

「みなさんと共に「いい人」づくりがわかる・できる楽しさを子どもたちにも」をスローガンにしている広陵町の教育。少子化が進む中、子ども達の人口はここ4年間はほぼ横ばいです。

子ども達には、「広陵町に住んでよかった。」と言ってもらい、自分の子どもにも広陵町で教育を受けさせたいと思えるようにさまざまな取り組みを行っています。

また、町内中学校の部活動に対し、さまざまな形で補助することで学生が伸び伸び活動できる環境を整えています。

広陵町の教育



通級指導教室

小学校の通常学級に在籍している特別な支援が必要な児童に対して、一人ひとりの課題に応じた特別な指導を行います。



小中学校トイレ洋式化とエアコン設置

子どもたちが心地よい環境で勉学に集中できるように学校の設備を整えています。平成29年度には、小中学校の教室に空調を完備しました。今後は、トイレ洋式化を順次進めます。



小中学校完全給食に

広陵町と香芝市の共同中学校給食センター「スマイル」の完成により、平成28年9月から中学校でも給食が始まりました。徹底した衛生管理を行い、安全・安心に努めています。また、奈良県産の食材を取り入れ地産地消を推進しています。



▲給食センター「スマイル」



タブレット授業

教育の現場にタブレットが導入されました。今後は、ICTを活用した、多くの授業が実施されます。

広陵町の教育の状況

安心できる子育て

「子どもとは、いつも笑顔でいたい。」

それは、生まれてからはもちろん、妊娠中でも同じことです。

子どもの成長を楽しみ、喜ぶ日もあれば、不安や悩みを持つこともあるかもしれません。

広陵町では、保護者の方についても笑顔でお子さんに向き合っていたり、年間を通して乳幼児健診や妊婦歯科健診、マザークラス、パパマクラス、離乳食教室など出産前後に役立つ教室を開催しています。

また、町は心友助産院と協力し、産後ケアを行ったり、広陵町シルバー人材センターでは、一時預かり施設「ポケット」を開設しています。このように広陵町では、お子さんとの最高の出会いや生活をさまざまな方法でサポートしています。

同じ病院で出産することが分かりました！



▲マザークラスで会ったお二人の妊婦。話をしていくうちに同じ病院で出産を予定していることが分かりました。

出産前後のサポート マザークラス

産前産後の準備や妊娠中の健康管理（栄養や歯科を含む）、仲間づくりなどさまざまなサポートをしています。

Pick up point



◀相談コーナー！普段抱えている悩みなど専門の講師がお応えします。



▶妊婦でもできるストレッチや体操を実際に身体を動かしながら体験します。

「親子のふれあい」・「育児の相談」 気軽にご参加ください♪

豊富なイベント



①②なかよし広場（さわやかホール）、（広陵北かぐやこども園）で開催されたクリスマス会 ③マミつどいの広場で開催された手スタンプ押し体験



なかよし広場

【場所】広陵北かぐやこども園1階子育て支援室
【対象】町内在住のおおむね3歳未満の児童および保護者



なかよし広場

【場所】さわやかホール4階大会議室
【対象】町内在住のおおむね3歳未満の児童および保護者



マミつどいの広場

【場所】エコール・マミ南館2階 マミホール
【対象】香芝市・町内在住の未就園児および保護者



栄養バランスに配慮 離乳食教室 実施

乳幼児を持つ保護者の方を対象に離乳食教室を開催。子どもの栄養や離乳食についてのお話や離乳食の調理実習や試食（保護者のみ）を行っています。



▲教室中はお子さんを、預けることができるので、安心！



どこに相談したらいいのか分からない…そんな時は
子ども・子育て相談センター までご連絡ください。

妊娠・出産・子育てに関するさまざまな悩みや不安について母子保健コーディネーター（助産師など）と保育コンシェルジュ（幼稚園教諭・保育士）がお話を伺い、必要な情報を提供したり、必要な機関と連携しながら、相談を承ります。



▲相談室には相談中に子どもを遊ばせるスペースもあります

他にも広陵町は妊娠・出産・子育てを通してさまざまなサポートをしています。

マタニティ相談（助産師・保健師）

妊娠中や産後の心配ごとの解決のお手伝いをします。また、電話・来所・家庭訪問を行っています。

パパマクラス（助産師・保健師）

妊娠中に気をつけて欲しいことや出産後の生活についてアドバイスします。またプレパパの妊婦体験や体脂肪測定、赤ちゃんのお風呂体験などがあります。

新生児訪問（助産師・保健師）

ご自宅へ訪問し、赤ちゃんの成長発達やママの産後の健康、子育てについての相談ができます。

赤ちゃん和妈妈の相談（助産師・保健師）

赤ちゃんの発達や母乳のこと、子育てについてなど相談できます。

すくすく相談（助産師・栄養士・保健師）

子どもの身長、体重などの計測と、発達や栄養についての相談ができます。



健康に生涯挑戦のヒケツ 支え合う地域力。

「あなたは、健康ですか。」
という問いに、「自分は健康だ。」と即答できる方は、少ないと思います。
それは、自信がないのか、本当に健康ではないのかは、
分かりません。しかし、いき
がいを見つけ、住民同士が支
え合っている地域の方々は、
自然と笑顔が多いのは言うま
でもありません。



▲「KEEPはつらつ教室」の皆さん

先進的な取り組みで 表彰を受けました

平成28年度「奈良県がんばる市町村応援表彰事業【地方創生(しごとづくり・ひとづくり)部門】」で最優秀賞を受賞しました!



広陵町介護予防リーダー (通称 KEEP)

介護予防リーダーとは、住民が自ら介護予防に努めることができることを普及啓発するために、必要な運動の基礎知識と技術を身につけた住民ボランティアです。

町は、この介護予防リーダーを養成するため、畿央大学の協力を得て、平成26年度から養成講座を実施しています。

現在に至るまで、84名が受講し、運動を切り口に、介護予防から支え合える地域づくりを目指して活動しています。

養成講座受講者の多くは、「自分や家族の健康のため」が受講動機でしたが、実際に活動を重ねるうちに「人のためや地域のために活動したい」と考える方が増えています。

▶ KEEPの活動

養成講座修了後、運動や介護予防の必要性を楽しみながら知っていただくための「KEEPはつらつ教室」、地域のサロンや高齢者の集いの場へお伺いする「出前講座」、さわやかホール3階に来られる高齢者のための「ミニ運動教室」が主な活動です。

また、介護予防と地域のつながり・助け合いができることを目指して「通いの場づくり支援」も行っています。

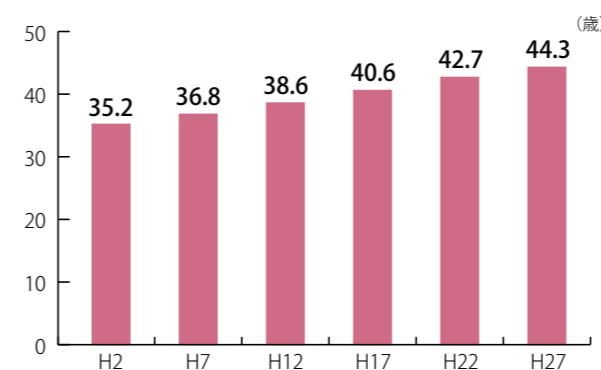
▶ 広陵町介護予防リーダー養成講座

新しくKEEPを目指す方を募集し、養成講座(全11回)を開催します。



広陵町の平均年齢

医療の発達などによる平均寿命の伸びや出生率の低下などにより平均年齢が伸びている昨今。
広陵町でも、平成に入ってから平均年齢の伸びは平成2年から平成27年までで約9歳伸びていることが分かりました(左記グラフ参照)。
そんな平均年齢が今後も伸びると推定されるなか、40歳・50歳の方が「若者」と呼ばれる時代が、もしかしたら来るのかもしれない。



▲広陵町の平均年齢の推移

※平成2年～27年国勢調査参照

生涯・挑戦者

チャレンジャー

平均年齢が伸びゆく昨今。従来よりも元気で活発な高齢者が増えています。
そんな元気で何事にも挑戦する姿に、取材を通して「挑戦することに年齢は関係ない。」
そう感じさせていただきました。

サポート

「通いの場」

町では、健康づくりと介護予防の継続、地域のつながりの必要性を普及啓発するために、「通いの場」づくりを応援しています。通いの場から住民同士のつながりができ、「助け合い・見守り」ができるような地域づくりを目指しています。

「通いの場」ご紹介

■「かぐや姫体操」の皆さん

将来困ったときに、助け合える仲間づくりを目指します!



■「ほほえみ」の皆さん

いろんな人と知り合えて通うのが楽しみです。また、生活の中でも体操を取り入れています!



■「真友会」の皆さん

食事会やカラオケ、手芸など趣味や特技を生かして交流の機会と繋がりをつくっています!



ふれあい・いきいき サロン

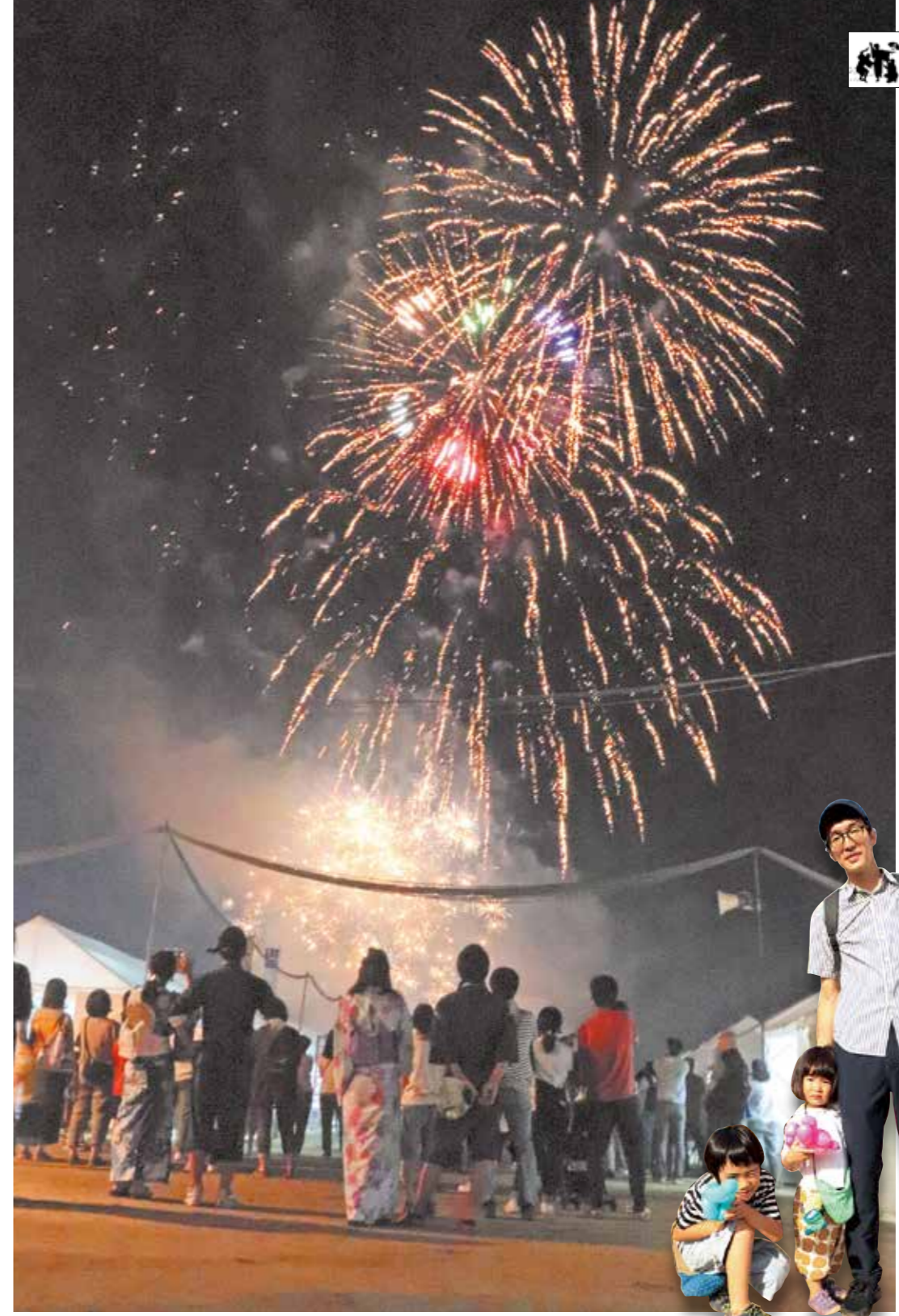
「萩の里(百済二条)」の皆さんは、設立から5年目を迎え、おきな杜のスポーツセンターを招き、椅子に座ったままの体操や脳トレと運動を組み合わせたコグニサイズなどの指導を受け、健康維持につなげるため、積極的に活動されています。
このほかにも、年間をとおして、カラオケや情報交換をされています。





広陵かぐや姫まつり

地域がひとつになるからこそ、できることがある。
地域がひとつになるからこそ、笑顔が増える。
そんな皆さんの笑顔、自慢してもいいですか？



広陵かぐや姫まつりとは

中秋の名月のもと、竹灯りに揺らぐ幻想的な灯火。平成7年から始まった「広陵かぐや姫まつり」は、竹取公園で2日間にわたって開催される、人気のイベントです。

日頃の練習の成果を披露するなんでもパフォーマンスや靴下デザインコンテストの受賞式、子どもたちが、かぐや姫・貴公子に扮して、会場内を練り歩くかぐや姫行列などが行われる「観月の夕べ」など賑やかな行事が盛りだくさん。

町の友好交流都市福井県美浜町の物産展や各種模擬店などの催しも行われます。
一日目の最後には、夜空に咲く約300発の花火に皆さん心を奪われます。

竹取物語発祥の地広陵町

讃岐神社



『源氏物語』の中で、「我が国最初の物語」と書かれている『竹取物語』。竹取の翁の名前「さぬきの造」や、かぐや姫に求婚する五人の貴公子の名前と身分などの内容から、「翁の住まいは大和国広瀬郡散吉（さぬき）郷（現在の広陵町）である。」と世に発表されたのは昭和28年でした。以来今日まで岩波・新潮・講談の各社の『竹取物語』の注釈にこの学説が引用されています。町にある讃岐神社は、平安初期につくられた全国の神社一覧『延喜式神名帳』にも記載されている古社です。讃岐氏ゆかりの翁がこの地に住んだ、いにしえを偲ぶかのように、神社は今も奥山古墳の近くの竹やぶに囲まれて、ひっそり鎮座しています。

アクセス

【住所】 広陵町三吉 328 番地

友好交流都市 美浜町

- ▶面積 152.32km²
- ▶町制施行 1954年



美浜町イメージキャラクター「へしこちゃん」



約300発の花火



祭の初日の最後には、盛大な花火が広陵町の夜空に咲き誇ります。

かぐや姫による観月の灯火の点火



かぐや姫の衣装を着た子どもたちとミスかぐや姫による「観月の灯火の点火」。薄暗い空間に灯りが点いていき人々を魅了します。

靴下デザインコンテスト



全国から応募があり、その中から町にふさわしい靴下デザインを選定し、そのデザインを基に靴下を作ります。

畿央大生による受賞作品を使ったファッションショーも開催



防災 × 地域力

地域の防災訓練

災害は、突然やってきます。
そのため、普段から防災意識や地域力を高めることが大切です。
そんな地域の防災訓練をご紹介します。

広陵・香芝合同救急防災フェア



真美ヶ丘第一小学校区の皆さんによる防災訓練。大地震発生を想定し、指定避難場所である真美ヶ丘第一小学校へ避難。その後、AEDの使用方法や消火訓練などを体験しました。

文化財防火訓練 ～百済寺～



地元の方や百済自警団、広陵古文化会、広陵町消防団、広陵消防署などにより、文化財の持ち出し訓練や消火器・バケツリレーによる初期消火訓練、放水訓練などが行われました。



いのちを守るまちづくり 体験型イベント



当日は、親子連れや若者、高齢者など多くの方が参加します。また、食育や運動、防災といったさまざまな「いのち」の大切さをイベントを通して楽しく学ぶことができます。



靴下の町ならではの行事 靴下の市&地域特産品交流フェア



毎年4月・11月に開催される「靴下の市&地域特産品交流フェア」。
広陵町が誇る靴下や県内外の市町村の特産品が販売され、大いに会場はにぎわいます。
ぜひ広陵町の靴下の良さを手に取って感じてください。



春の行事



秋の行事



夏の行事



冬の行事



町の無形民俗文化財 立山祭 (たてやまつり)



▲大垣内立山会館が平成30年に新しく建ち、一年間今年の「作り物(立山)」を展示しています。

夏の終わりを告げる地蔵盆。毎年8月24日に大垣内の専光寺では、地域住民によって立山(作り物)が飾られる伝統行事「立山祭」が行われます。これを立てないと「不治(ふじ)いる」(病気や事故が起こる)と伝えられ、公民館や新築の家、婚礼があった家などでは、その年に話題となった出来事や有名になった人物を取り上げ、作り物(立山)が飾りつけられます。



文化に触れて体験する 広陵町文化祭



例年文化の日の前後に、広陵中央公民館で「広陵町文化祭」が開催されます。
文化展覧会、中央公民館活動発表会、文化歴史講演会などを開催し、文化の香り高いまちづくりの一役を担っています。
また、平成27年度から、参加体験型教室を新しく催し物に加え、日頃中央公民館で練習されている舞踊や尺八などに、親しんでもらえる機会となっています。

明日は
どこへ行こう。

明日は
何をしよう。

広陵町 イベントガイド



箸尾のだんじり勇壮なり 戸閉て祭 (とたてまつり)



前方後円墳の後円部に本殿があり、古墳全体が神社の境内にある櫛玉比女命(くしたまひめのみこと)神社。戸閉て祭は、江戸時代より受け継がれる伝統の祭礼で、10月下旬から11月上旬に開催されます。祭りの時期が晩秋で寒いため、各家の戸を閉めて行ったことからその名がついたといわれています。初日の夜には、4大字(南・萱野・弁財天・的場)のだんじりがにぎやかに神社へ入る「宮入り」が行われ、その勇壮な姿に祭りは、最高潮を迎えます。



世界に誇る、町の産業

広陵町の米で日本酒を造る

広陵町の水は吉野川分水の軟水。底冷えがする冬の寒さもおいしい日本酒を造るのに適しています。

江戸時代創業の造り酒屋をルーツに持つ長龍酒造が、この地で酒造りを始めたのは昭和54（1979）年。翌年には全国新酒鑑評会で奈良県初の金賞を受賞しました。

日本酒
ちようりよう しゆぞう
長龍酒造株式会社

平成14（2002）年に、いったん生産が途絶えていた奈良県の酒造好適米「露葉風」を、JAの協力のもと、山添村で復活させました。露葉風で造る酒は、淡麗できれいな味ながら強いインパクトがあり、造り方によって特徴が出しやすいため、蔵元によって違うバラエティに富んだ酒ができます。奈良でしか作れない酒米を大切にしたいと、今

では13の農家が米を、16の蔵元が露葉風で酒を造っています。平成30（2018）年7月には、広陵町役場の橋渡しによって弁財天営農組合で栽培された「特別栽培米ヒノヒカリ」で仕込んだ、「広陵蔵 特別栽培米仕込み」が完成発表となり、新たな特産品として注目を集めています。



地域の特性を生かして綿花を栽培し、その流れで靴下製造が栄えました。また、プラスチック産業は高度経済成長時代に製造の幅を広げて、現在はグローバルに展開しています。

安全で高品質な製品、プラスチック

昭

和30年代前半に数軒だったプラスチック製造の事業所が、昭和40年代以降、プラスチック製品の急増と共に発展。積極的な設備投資と商品開発によって高品質な製品を生み出し、広陵町にプラスチック産業がしっかりと根づきました。現在は、日用雑貨品、食品用容器、医療用器材などを製造し、世界市場への展開も進めています。

金魚すくいのポイの生産量日本一！！



昭和10（1935）年創業の昌和莫大小は、2000年代後半から、それまでのOEMから独自ブランドでの展開にも取り組んでいます。その後、幼児の足のトラブルが増えていることを知り、奈良県、大学と一緒に3年の歳月をかけて開発した商品が、走れる靴下、通称「はだし靴下」です。靴下だけではだし感覚で歩くことで、足裏の筋肉を鍛えて体のバランスを整えるものです。平成29（2017）年ブランド名を「OLENO」として、アメリカニューヨークでブランドデビューを飾りました。



100年以上続く伝統産業

広陵町は古くから木綿の原料となる綿花の産地で、江戸時代には大和木綿が作られ、その流れで足袋や靴下の製造が行われました。近代化の波が押し寄せた明治末期には、アメリカから靴下用の手回し編み機を導入、大正時代には自動編み立て機も導入されました。農閑期の農家の副業となりました。

その後、奈良県は日本一の靴下生産量を誇る産地となり、広陵町は編み立てを行う工場、セット作業をする個人など、まさに町ぐるみで靴下作りを行い発展してきました。近年は安価な輸入品に押



地場産業／靴下
しやうわ もりやす
昌和莫大小株式会社



昌和莫大小株式会社
井上克昭さん
3代目社長。広陵町生まれ。町と業界が一体となって広陵町の靴下を日本中に、そして世界に発信します。



■ なす

夏季に露地で栽培される夏秋なす、冬季にハウスで栽培される冬春なすがあり、一年を通して出荷。広陵町は国の指定産地（夏秋なす：昭和43年12月から・冬春なす：昭和62年9月から）になっています。



■ いちご

味が濃く香りも良いのが、平成23年に生まれた奈良県の新品種「古都華」。「章姫」、「紅ほっぺ」、「アスカルビー」なども栽培されており、12月から5月上旬まで市場に出回ります。



■ 軟弱野菜

代表的なものとして、小松菜、水菜、ほうれん草など、一年を通してビニールハウスで栽培されていますが、11月から3月頃の寒い時期は特に味が良くなります。

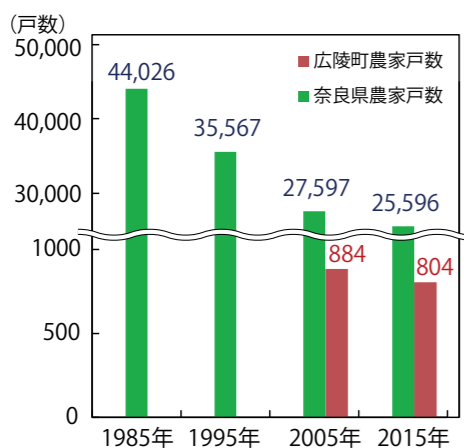


■ 健楽農業（けんぎょうのうぎょう）

平成26年度に奈良県の「県内大学生が創る奈良の未来事業」に奈良女子大学の学生が提案した事業。広陵町をモデル地域に、町内の非農家住民による遊休農地活用の取り組みとしてスタート。現在は15名で、広瀬と中にある合計約4,500㎡の畑で活動中。

生産者の顔が見える

優しい故郷の味。



奈良県および広陵町の農家戸数の変化（農林業センサスを元に作成）

なすの産地となりました。いちごは、水田の裏作として収益性が高かったことから、戦後から昭和40年代頃まで、ハウス栽培の広がりとともに作付け面積が拡大しました。その後、減少に転じましたが、新たに若手就農者を中心に復活の兆しをみせています。

軟弱野菜に取り組み農家は、ちぢみ小松菜、空心菜、オレシジカリフラワーなど、めずらしい野菜を栽培したり、有機栽培を行ったり、さまざまな取り組みをしています。

農業をめぐる現状

農家の高齢化や後継者不足など、農業を取り巻く環境は厳しくなっています。

しかし、農業には災害防止、水源確保、自然環境の保全など、食料供給以外にも多くの役割があり、町の面積の約3分の1が農地である広陵町でも、16の活動組織で農地や農業関連施設の保全が地域ぐるみで行われています。

広陵町の農業の歴史

比較的雨が少ない広陵町ですが、南北に高田川、葛城川、曾我川の三つの河川が流れるため、元々は湿地地帯でした。明治初期までは稲作に加えて、干害に強い綿が作られていました。が、海外産の安価な綿が輸入されるようになり、衰退しました。大正末期から昭和初期にかけて田畑輪換によってスイカとその後作として夏秋なすが作られるようになり、その後ハウスを導入した半促成なすの生産が増え、県内でも有数の

野菜のおいしさをつなぐ 奈良うま直販フレッシュ

平成26年に古寺で奈良県産野菜の卸売業を興す。農家と飲食店など双方の思いをつなぎ、奈良県の野菜のおいしさをより多くの人に伝えられています。



代表 森 ゆかりさん



平成31年広報こうりょう1月号に農業塾の記事があります。



一緒に楽しんで農業しましょう



▲農業塾のメンバーの方々（一部）

\ Pick up! /



夜間講座



農作業機械実習



秋冬野菜の栽培実習



夏秋なすの栽培・販売

広陵町では、新たな農業の担い手を育成するために、平成26年度より「農業塾」を開講しています。

塾生は2年半の講座と実習により、農作物の栽培や経営に関する知識を身につけ、販売農家としての自立を目指します。

広陵町農業塾



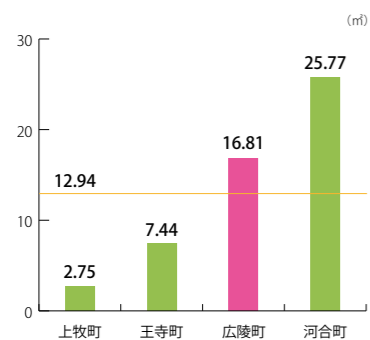


子どもから大人まで楽しめる 竹取公園

広 陵町西部にある6.5ヘクタールの広大な公園。ちびっこゲレンデでのそり遊びやローラーすべり台など、ダイナミックな遊具が子どもたちの冒険心を刺激します。また、町内で発掘された遺構をもとにした、古墳時代の竪穴式住居と高床式倉庫を復元した古代住居広場もあります。竹林や四季折々の草花が咲く花壇、芝生広場など、1日遊べる町民憩いのスポットです。



＼ 広陵町は公園の数が多い!? /



奈良県内各市町村1人あたりの公園面積
平均 **12.94m²**

広陵町の1人あたりの公園面積
平均 **16.81m²**

▲ (平成29年度末都市公園等整備現況調査とりまとめ) 奈良県都市計画区域内都市公園整備状況参照

この景色を見ると
あの頃を思い出すんだ。

奈良盆地のほぼ中央に位置する広陵町。三つの河川の周囲には田園風景が広がり、馬見丘陵の巢山古墳をはじめとする古墳群は樹木が覆い茂って自然生態系の一部となっています。また、広大な敷地の竹取公園、美しい遊歩道「かつらぎの道」など、町の随所に公園や緑があるため、多くの昆虫が生息し、野鳥や渡り鳥も飛来します。



広いグラウンドと遊歩道 横峯公園



真 美ヶ丘ニュータウンの中にある公園で、四方を囲む雑木林には散歩道、中央のグラウンドの周りには遊歩道があり、森林浴をしながら散歩ができます。砂場、すべり台、ブランコなど、子どもたちが遊べる遊具もあります。

表紙の撮影は横峯公園で行いました！



幅広い世代の町民がプレイ 広陵パークゴルフ場



道 具やルールがシンプルで、子どもから高齢者まで、幅広く利用できるパークゴルフ。百済にある広陵パークゴルフ場は、18ホールを備え、「ふれあい、健康、交流」をキーワードに、美しいグリーンの上で、幅広い世代が交流し、楽しんでいます。



◀ふれあいパークゴルフ大会の様子。異なる世代の方々とふれあいながら、交流を深めます。



暮らしの中で自然に親しめる かつらぎの道



五 位堂駅の北側から牧野古墳へ、住宅地の中央に道幅15m、約2kmにわたる歩行者・自転車専用道路です。緑地帯が続き、四季折々の植物の変化を間近に感じることができます。サイクリング、ジョギング、ウォーキングを楽しむ人の姿も多く見られ、大型ショッピングセンターのエコール・マミヤ畿央大学などを通る利便性の良さもあり、町民に親しまれています。



四季折々のイベントが開催 馬見丘陵公園



歴 史と自然に囲まれた憩いの空間を目指し、馬見古墳群の中央群がある丘陵の東部、広陵町、河合町にまたがる地域に開園した都市公園。日本で2番目に大きい帆立貝形古墳の乙女山古墳や、築造当時の様子と現在の状態を比べられるように復元整備したナガラ山古墳などがあります。



チューリップフェア ひまわりウィーク フラワーフェスタ クリスマスウィーク



憩いと出「愛」の空間



平成 29 年 10 月 1 日にオープンしたかぐやcafé。移住・定住サロンとして、広陵町の魅力を発信したり、定住希望者の声を町に伝えたりするパイプ役を担っています。また、広陵町の特産品を使った軽食メニューやコーヒーもあり、図書館利用者の憩いの場となっています。



こだわりの内装

畿央大学の佐竹舞香さんが手掛けたデザインを基に内装された店内。こだわりは、竹取物語に登場する竹林をイメージした和める空間。竹の中から、かすかに光る電球もかぐや姫誕生を連想させ、落ち着いた雰囲気をご提供します。



オススメメニュー



かぐやブレンド

新鮮な豆を使用し、お客様のニーズに合った入れ方で提供します。

おにぎらず

広陵町産のお米で新鮮な食材を挟んだお米版サンドイッチ。



ぜひお越しください /

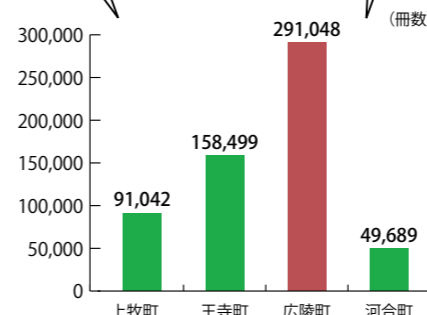
かぐやcaféのオーナー



約 29 万冊 の出「愛」がある。



■ 県内市町村蔵書数 4 位
■ 県内町村蔵書数 1 位



▲ (公社) 日本図書館協会『日本の図書館2018』の「公共図書館調査票」参照

平成 29 年に開館 20 周年を迎えた広陵町立図書館。日頃、家族連れの方や自習に來られる方など多くの方に親しまれています。そんな図書館ですが、蔵書数が約 29 万冊です。これは、県内町立図書館の蔵書数では、一番高い数字となっています。つまり、広陵町では他の町よりも、多くの本と出会える場所なのです。

蔵書数が県内の町 No.1

「多くの本に囲まれて、のんびりと本を読みたい。」と思う方もいれば、「足を運ぶ時間が無い。」という方もいます。そんな方には、電子図書館サービスがオススメです。好きな時に、好きな場所で、好きな人と自分に合った読書を楽しめます。

時代に合ったサービス



映画「天使のいる図書館」の舞台に /



葛城地域観光協議会総会の葛城地域観光振興シネマプロジェクトにより、葛城地域を舞台とした映画の撮影が行われました。映画に登場する図書館は、広陵町立図書館。映画は平成 29 年 2 月 11 日から奈良県で先行公開が行われました。



自然に囲まれた屋外空間

県内市町村の図書館では珍しい、屋外読書スペース。暖くなった春先などはオススメの読書場所です。



充実した自習スペース

館内 33 席設置している自習スペース。静かな空間で集中力もアップします。



豊富なイベント

図書館講座や「赤ちゃんから絵本を楽しもう!」、金曜名画劇場などさまざまなイベントが盛りだくさんです。

うちの図書館、すてきな空間!





正楽寺 2mを超える本尊

十一面観音立像

(奈良県指定文化財)

古寺環濠集落の中にある正楽寺観音堂に安置される本尊。平成7年の解体修理の際、発見された墨書銘から僧永覚の縁者の祈願により造立されたことが判明。



Profile

【制作】 平安時代末期
【像高】 211.4cm (町内最大)
【特徴】 体幹部分正面二材、背面四材からなるヒノキの寄木造り肩幅が広く、腕をゆったりと構えた姿は均整がとれ、おだやかな表情が印象的

正楽寺 Access

古寺集落の北方にあり、自治区で守られています。

【所在地】 広陵町大字古寺 345番地



大福寺 聖徳太子建立と伝えられる寺

十一面観音立像

(奈良県指定文化財)

左に難陀竜王(なんだりゅうおう)像、右に雨宝童子(うほうどうじ)像を侍立する長谷寺形式の三尊像で、全てが現存する数少ない遺品のひとつ。



Profile

【制作】 永禄3年(1560年)
※菅尾殿の立願により造立
【像高】 185.3cm
【特徴】 奈良の仏師集団、宿院(しゅくいん)仏師の制作で、彩色せず、ヒノキの美しい木肌がそのまま生かされた仏像

大福寺 Access

聖徳太子の建立と伝えられる大福寺は、江戸時代には三十石が下付され、徳川家康から家茂までの朱印状が残ります。
【所在地】 広陵町大字的場 80番地



与楽寺 室町時代の由緒ある座像

弘法大師座像

(奈良県指定文化財)

三間四方の四注造椽瓦葺の本堂にまつられる本尊。右手に五鈷杵(ごこしよ)、左手に数珠をもつ座像。



Profile

【制作】 応安6年(1373年)
※僧乗円の本願により大仏師僧行盛が造立
【像高】 83.6cm
【特徴】 奈良市元興寺所蔵の弘法大師像に次ぐ古さ

与楽寺 Access

境内の南には、弘法大師が掘られたと伝えられる梵字池、修行石が残ります。明治5年(1872年)「広瀬郡諸宗寺院明細帳」によれば、当寺の山号は金龍山、明治初年には無本寺でした。開宗祖師は空海、開基は空海の伯母愛道尼ですが年暦は不詳です。
【所在地】 広陵町大字広瀬 797番地



与楽寺 類例のない十一面化仏の配置

十一面観音立像

(重要文化財)

弘法大師座像の脇壇には、十一面観音立像があり、解体修理によって像内から発見。マユミの一木で頂上の仏面から蓮華座まで緻密に彫出。



Profile

【制作】 奈良時代
【像高】 31cm
【特徴】 宝冠が庇のように張り出す形は類例がなく、頭上面が三面(上段1・下段2)を1単位として正面および左右に配列。洗練された目鼻立ちや肉感的表現は盛唐彫刻の感覚を濃厚に伝える。



百濟寺 Access

【所在地】 広陵町大字百濟 1411番地 2

百濟寺 優美に力強くそびえ立つ

百濟寺三重塔

(重要文化財)

『日本書紀』舒明天皇十一年(639年)7月の条に「詔して曰く、今年大宮及大寺を作らむ。百濟川の側を似て宮処と為す。」と記載され、聖徳太子が開いた熊凝精舎(くまごりしょうじゃ)を前身とする日本初の官寺「百濟大寺」の伝承地。塔は三間四方で、初層に回縁を設け、2・3層には高欄を付け、本瓦葺きで彩色が施されています。和様の優美な姿でそびえる三重塔は、鎌倉時代の建立と伝えられ、重要文化財指定。本堂は大織冠(たいしよくかん)と呼ばれ、談山神社の本殿を移築したもので毘沙門天像、十一面観音立像がまつられています。

歴史と生きる 文化遺産

約1500年。これは、広陵町と文化遺産がともに過ごしてきた時間です。この長い時の中で生きた人々は、いったいどのような「色」を町に残したのでしょうか。



巢山古墳の概要はこちら



古代王族の栄華を伝える古墳群

広陵町の西部に広がる馬見古墳群（うまみこふんぐん）は250基の古墳から成り、佐紀盾列古墳群（さきたてなみこふんぐん）、オオヤマト古墳群と並ぶ、大和三大古墳群の一つです。
4〜5世紀、有力な勢力誇った氏族の栄華を物語る遺産と考えられ、研究が進められています。

特別史跡 馬見古墳群中最大規模

■ 巢山古墳

馬見丘陵の中央部に位置する大型前方後円墳で、墳丘全長 220m、左右のくびれ部に造り出しを設け、周囲には水を湛えた周濠と外堤が巡ります。埋葬施設は後円部中央に竪穴式石室2基、前方部にも石室があります。出土品は、玉類、腕飾類、鏡、冠等多種類で、周濠からは『古事記』に記された「喪船」（遺骸を載せる船）が出土。当地域の首長の墓といわれています。

Access
【所在地】 広陵町大字三吉元斎音寺方、元赤部方

陵墓参考地 墳丘 200 m の大型前方後円墳

■ 新木山古墳



前方部を東に向ける前方後円墳。墳丘全長 200 m、前方部幅約 118 m、後円部径 120m で、周濠と外堤を伴う形状で、馬見古墳群で巢山古墳と並ぶ大型古墳です。円筒埴輪から、築造は5世紀前半、巢山古墳に次いで造られたと考えられています。三吉陵墓参考地として、副葬品の勾玉、管玉、棗玉は宮内庁に保管されています。

Access
【所在地】 広陵町大字三吉元赤部方

陵墓参考地 馬見古墳群 最古の古墳

■ 新山古墳



馬見丘陵の南東端に築かれた全長約 126 m の前方後方墳で、築造は4世紀後半、馬見古墳群中で最も古い古墳とされています。後円部中央の竪穴式石室から銅鏡 34 面（三角縁神獸鏡・直弧文鏡など）や玉類、鋸形石、車輪石、石釧、金銅製帯金具、台座形石製品などが出土。大塚陵墓参考地として宮内庁の管理下にあります。

Access
【所在地】 広陵町大字大塚

県指定史跡 墳丘全長 45 m の帆立貝形古墳

■ 三吉石塚古墳



新木山古墳の西に築かれた東向きの帆立貝形古墳で、墳丘全長 45 m で、周囲に馬蹄形の周濠と外堤が巡ります。墳丘は二段で、第二段目には円筒埴輪、蓋、短甲、家形埴輪が立てられており、それらの形式から5世紀後半の築造と考えられています。遺構を盛土で保存した上に築造当初の姿に復元する工法で整備。円筒、朝顔形埴輪も磁器製の複製品を設置しています。

Access
【所在地】 広陵町大字三吉元赤部方石塚地内

史跡 石室内が見学できる 大型円墳

■ 牧野古墳



丘陵奥部にある直径約 50 m の大型円墳で、墳丘は三段築成で造られ、二段目には全長 17.1 m の大型横穴式石室が開口しています。墓室である玄室には奥壁に沿って横向きに家形石棺が置かれ、副葬品として金環と各種の玉類、馬具は二組分出土しています。銀装の太刀と 400 本近い鉄製のやじり、58 点の須恵器が発見されています。6世紀末葉の古墳で押坂彦人大兄皇子（舒明天皇の父）の成相墓（ならいのはか）とされています。

Access
【所在地】 広陵町馬見北8丁目

牧野古墳は年に2回（5月・11月）、石室内を一般開放しています。



▶ 巢山古墳で発見された水鳥の形をした埴輪

古墳案内 1
古墳案内 2
その他の古墳情報は
こちら

広陵町の指定文化財
はこちら

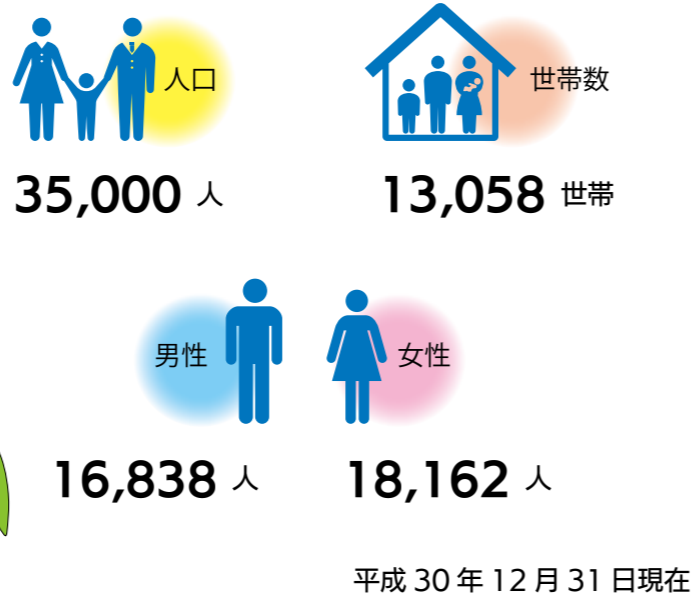
③ 町イメージキャラクター

かぐやちゃん PROFILE	
氏名	つきの 月野 かぐや
誕生日	4月15日
趣味	目を眺めること
特技	料理 (なすびのアレンジメニュー)
好きな食べ物	なすび、スイーツ全般
好きな場所	竹取公園
チャームポイント	漆黒の黒髪

かぐやちゃんLINEスタンプ発売中!

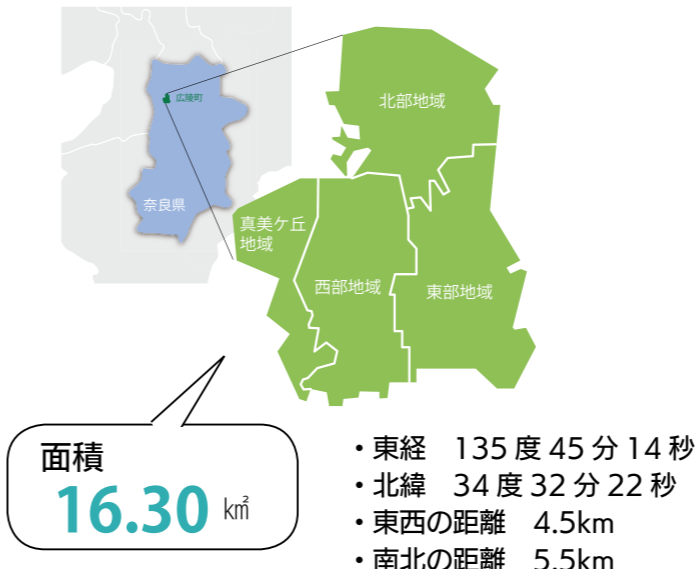


② 広陵町の人口と世帯



① 広陵町ってどこ？

▶ 位置



広陵町を掘り下げる

子育てしやすい広陵町
イベントが豊富な広陵町
靴下で有名な広陵町
果たして、あなたが知っている広陵町はこれだけで
しょうか。
ここではもう少し、広陵町を掘り下げて説明します。



ひまわり
広陵町の町花



もくせい
広陵町の町木

町花・町木

わたしたちは、緑の自然と古い歴史に育まれ、豊かな未来の創造をめざす広陵の町民です。

広陵町民は、心のふれあいをたいせつにします。

広陵町民は、美しい自然をたいせつにします。

広陵町民は、歴史と文化をたいせつにします。

広陵町民は、老人を敬い、子どもの未来をたいせつにします。

広陵町民は、健康と働くことをたいせつにします。



広陵町の「広」を
図案化したもので、
丸は「和」を、上に伸
びる線は「発展」を
表現しています。

町章

(昭和33年1月17日制定)

- 作詞 大山浩平
作曲 キダタロ
- 大和青垣 四季美わしく
かおる文化の さやけさよ
映えし万葉 承りつぎて
われらふるさと 築きたつ
広陵 広陵 わがまちよ
 - 大和広瀬野 風さわやかに
萌ゆる緑の ゆたかさよ
高きなりわい 育みて
われらふるさと 担いたつ
広陵 広陵 わがまちよ
 - 大和葛城 雲晴れわたる
真美にかがやく 丘並みよ
拓く未来に 魁けて
われらふるさと 明日にたつ
広陵 広陵 わがまちよ

広陵町々歌

(昭和52年12月20日制定)

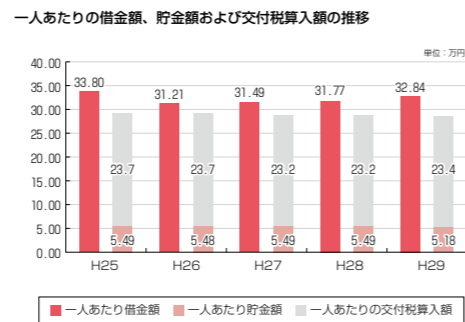
広陵町の本当の現状

町は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による4つの指標が、早期健全化基準を大きく下回っており、一見すると余裕のある財政状況だと考えられます。

しかし、右記のことを考えても、決して財政的に余裕があるとは言えない現状なのです。

一人あたりの借金額が、一人あたりの貯金額を大きく上回っている状況です。これでは、決して十分な貯蓄があるとは言えません。

また、一人あたりの借金額に対する交付税算入額を足してみても、なお一人あたりの借金額の方が多い状況であることが理解できると思います。



※一人あたりの借金額に対する交付税算入額は、国の重点施策を実施する事業の財源としての町債には、地方交付税が分割して交付されます。

② 財政状況を掘り下げる

指標	指標の意味	広陵町の結果	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	13.93%	20.00%
連結赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	18.93%	30.00%
実質公債費比率	広陵町と同等規模の町の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	8.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	広陵町と同等規模の町の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	52.5%	350.0%	

地方公共団体の赤字や借金返済の程度といった財政状況を表す4つの指標がそれぞれ一定の基準を超えた場合に、その程度に応じて財政健全化の対策を義務づけることを定めています。この「一定の基準」が「早期健全化基準」と「財政再生基準」です。

① 広陵町の財政状況



100年の想いを乗せて

箸尾駅

生活を豊かにするコミュニティバス

広陵元気号



近鉄田原本線(旧大和鉄道)の歴史

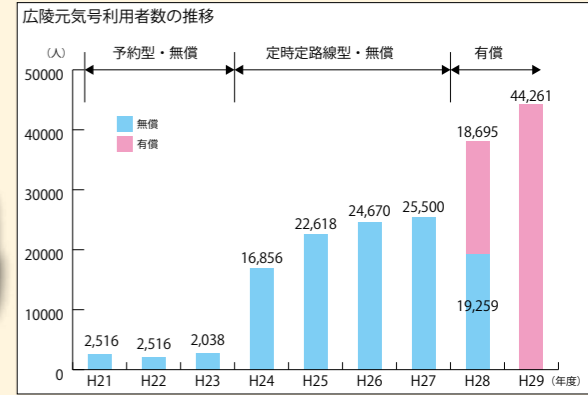
- 明治 45 (1912) 年 田原本鉄道(株)設立
- 大正 6 (1917) 年 大和鉄道(株)へと社名変更
- 大正 7 (1918) 年 大和鉄道開通(新王寺~田原本間)
- 昭和 3 (1928) 年 桜井町まで延伸
- 昭和 19 (1944) 年 田原本~桜井町間営業休止
- 昭和 39 (1964) 年 近畿日本鉄道(株)に合併



▲昭和3年頃の路線図



広陵元気号利用者数の推移



利用者数は、試行運行前の平成27年度には、年間25,500人でしたが、有償化後の平成29年度は44,261人まで約74%増加しています。



西部支線

中央幹線

北東部支線

平成30年(2018)にはこの路線が開通100周年を迎えました。そこで、沿線の各町では記念イベントを開催しました。

広陵町では、10月14日に、スタンプラリーを

箸尾駅前で開催し、大盛況でした。



開通100周年記念イベント開催

大正7(1918)年4月26日、新王寺駅~田原本駅(現西田原本駅)間が開通。その後、桜井町駅(現在は廃止)まで延伸されましたが、戦争により一部路線の廃線などを経て、現在の近鉄田原本線の形となりました(左上年表参照)。

愛称は「やまてつ」

「やまてつ」という言葉を聞いたことがありますか。現在の近鉄田原本線のこと、当時は大和鉄道株式会社が運営しており、その愛称として「やまてつ」と呼ばれていました。



▲バスの乗り方教室



▲公共交通シンポジウム

まず、知ってもらうことから

平成28年10月1日から有料になり本格運行を開始した広陵元気号。

地域の身近な公共交通として住民の方々の暮らしを豊かにするため日々、運行しています。

そんな広陵元気号ですが、より住民の方に愛着を持ってもらうため、地域の小学6年生を対象とした、バスの乗り方教室を開催したり、また、広陵元気号をより身近に知ってもらうため、公共交通シンポジウムを開催し、広陵町の交通に関する現状と課題を把握してもらい、地域住民が広陵町の交通を自分事として考えるきっかけの場を提供しました。

箸尾駅前で皆さんをお出迎え!



「やまてつ100周年」を機に、平成30年8月12日に箸尾駅前に設置されたかぐやちゃんのフィギュア。皆さんも立ち寄った際は、一緒に記念撮影はいかがですか。

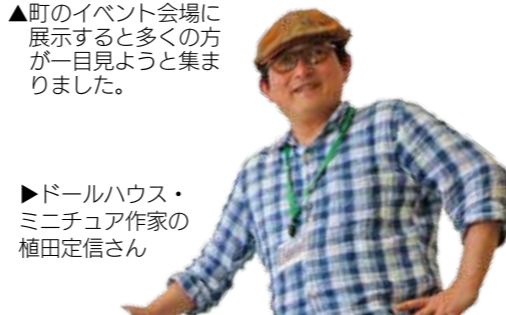
あの頃の箸尾駅をもう一度 昭和39年頃の箸尾駅をミニチュアで再現



開通100周年を迎えた近鉄田原本線の昭和39年頃の箸尾駅を、ドールハウス・ミニチュア作家の植田定信さんにジオラマで再現していただきました。



▲町のイベント会場に展示すると多くの方が一目見ようと集まりました。



▶ドールハウス・ミニチュア作家の植田定信さん



広陵元気号ラッピング

地域の身近な公共交通として運行している広陵元気号を、これまで以上に多くの方に、知っていただき、親しんでいただくため、車両のラッピングデザインを町内の小中学生から募集しました。その結果、1166作品の応募があり、選考委員会で審査を行い、車両へラッピングを行いました。



お買い物ポイントカード

平成29年11月1日から実施されたお買い物ポイント制度。乗車する度に、1ポイントが加算され、20ポイントを貯めると町内の商業施設で指定の商品と交換することができます。この制度を利用して、お得でエコにお買い物を楽しみましょう。



バス情報をスマホにお届け

時刻表、停留所情報をジョルダン・NAVITIME・ヴァル研究所・経路検索サイト上で検索・表示できるようにし、利用者へより分かりやすい情報提供を行っています。

▶広陵元気号時刻表 広陵町の公共施設に設置しています。

広陵町へのアクセス



町内を回るなら「元氣号」がオススメ!



あなたの好きな場所がきっと見つかる。

KORYO PHOTO SP♥T.



※地図上の数字の位置は、写真の撮影場所です。

① 箸尾駅側の高架下



鉄道を近距離で撮影するには、この高架下がオススメ。鉄道ファンにはたまらないフォトスポットです（レールや高架へは決して登らないでください）。

Access
【住所】 広陵町大字萱野 312 番地 2 (箸尾駅の住所)

② 教行寺



巨大な本堂が印象的な教行寺。別名、箸尾御坊と呼ばれています。境内は広く、ブランコや巨大な鬼瓦が置かれています。

Access
【住所】 広陵町大字萱野 652 番地 1

③ はしお元氣村のかぐや姫像



町内の公共施設「はしお元氣村」に附属するかぐや姫の像。竹取物語発祥の町ならではのモニュメントで、町民には愛されています。

Access
【住所】 広陵町大字弁財天 295 番地 3

④ 南郷環濠集落



下水道水緑景観モデル事業として国土交通省大臣表彰の手づくり郷土（ふるさと）賞を受賞している南郷環濠集落。住民の方の憩いの場となっています。

Access
【住所】 広陵町大字南郷 (南郷地区の広範囲に存在します。)

⑤ ピエロ公園のピエロ遊具



ピエロの顔が印象的な遊具がある公園。他にも、特徴的なブランコや砂場、広々としたグラウンドがあり、子どもたちの遊び場となっています。

Access
【住所】 広陵町大字三吉 34 番地 (正式名称：広陵第1号近隣公園)

⑥ 交通公園のたこ型遊具



巨大なたこの形をした遊具が印象的な通称たこ公園。たこの他にもさまざまな動物の形をしたモニュメントがあり、子どもたちの思い出の場所です。

Access
【住所】 広陵町大字古寺 144 番地 1

⑪ 竹取公園



春の定番のお散歩コースといえば竹取公園。暖かい日には、お弁当を持って家族でピクニックなどはいかがでしょうか。

Access
【住所】 広陵町大字三吉 391 番地 1

⑩ 馬見南3丁目街路



広陵町エコセンター横の住宅街のなかにある桜並木。グリーンベルトに規則正しく並んだ桜はとてもきれいで目移りします。

Access
【住所】 広陵町馬見南3丁目9番地30 (広陵町エコセンターの住所)

⑨ 新家長福寺



新家長福寺は、昔から境内に桜が多く「桜御坊」と呼ばれており、昭和44年に八重桜が多く植えられてからは、見事な桜の寺となっています。

Access
【住所】 広陵町大字三吉 357 番地

⑧ 曾我川堤防 (パークゴルフコース付近)



広陵パークゴルフコース付近が見どころの桜並木。細い堤防に両側から桜が張り出しています。暖かい日にオススメのお散歩コースです。

Access
【住所】 広陵町大字百済 2438 番地 1 (広陵パークゴルフコースの住所)

⑦ 高田川堤防 (箸尾地区)



広陵北体育館付近にあり、奈良県景観資産に登録されている桜並木。川沿いの桜は、満開になると空とのきれいなコントラストが浮かびます。

Access
【住所】 広陵町大字大野 546 番地 1 (広陵北体育館の住所)

＼意外と多い! 桜の名所!／

桜の種類は多く、日本の固有種や交配種を含めると600種以上あるといわれています。広陵町では、主にソメイヨシノが3月下旬から4月上旬にかけて咲きます。暖かい春の日差しが降り注ぐ時に町内の桜スポットに出かけてみませんか。



開かれた議会をめざして

広陵町議会

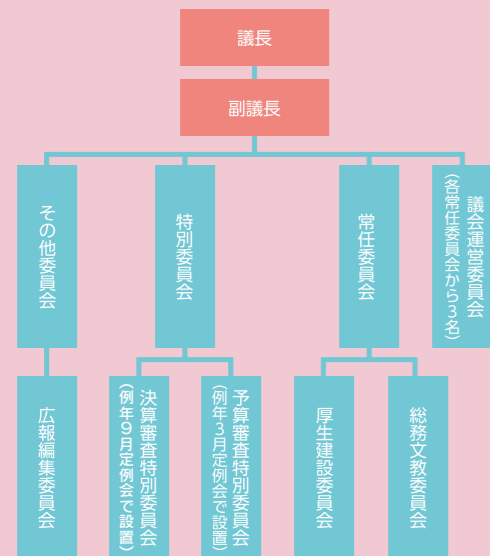


※一日町長体験（平成30年12月27日）で所信表明を行った4人の児童とともに。

町 議会は14人の議員で構成され、年4回の定例会と臨時会を開催。町政に関する各種審議や調査を行うほか、町民から寄せられた請願に対して審議、審査を行い、結果を行政に反映します。議会の傍聴は自由で、審議過程もホームページや議会だよりなどで公開しています。

また、二元代表制のもと議会運営の基本事項を定めた「広陵町議会基本条例」の趣旨を踏まえ、町行政が適切に執行されているかをチェックする役割を果たすとともに、政策を立案し、町長に提言する積極的な議会、町民参加型の開かれた議会をめざし議会活性化に努めています。

▶ 広陵町議会構成



▶ 議会の軌跡「議会だより」



1990	1985
平成3年	昭和60年
7月	10月
在宅福祉推進の町として厚生大臣表彰を受ける	「わかかさ国体」ソフトボールとフェンシング競技実施
5月	4月
広陵中学校改築竣工	池端若松氏、野村豊和氏が名誉町民に
5月	4月
ふるさと会館グリーンパレスオープン	真美ヶ丘中学校開校
10月	4月
広陵消防署事業開始	真美ヶ丘第二小学校開校
9月	4月
なら・シルクロード博で「ふるさとライブ広陵ファッションフェスタWITHクツシタ」開催	第二次広陵町総合計画策定
11月	4月
野村佐市氏が名誉町民に	

2010
平成22年
10月
広陵パークゴルフコースオープン
平成24年
7月
第四次広陵町総合計画策定
平成25年
6月
第七代町長に山村吉由氏が当選
平成26年
9月
福井県美浜町と友好交流協定を締結
平成27年
4月
町制施行60周年
平成28年
8月
香芝市・広陵町中学校共同給食センター「スマイル」竣工
平成29年
11月
役場庁舎耐震補強工事終了
平成30年
10月
広陵町立図書館が舞台の、映画「天使のいる図書館」が全国上映
平成31年
9月
町内小中学校普通教室等全室空調設置完了
平成32年
3月
広陵町男女共同参画行動計画策定
平成33年
4月
広陵北かぐやこども園開園

1980	1975 (昭和50年)	1970	1965	1960	1955
昭和59年	昭和51年	昭和46年	昭和42年	昭和37年	昭和31年
4月	10月	9月	8月	9月	5月
鈴木二美氏、パリンピックロンドン大会アーチエリで銀メダル	町基本構想策定	新庁舎竣工（現町庁舎）	西小学校竣工	小学校で学校給食開始	初代町長に池端若松氏が当選
昭和58年	昭和52年	昭和45年	昭和44年	昭和39年	昭和33年
4月	12月	6月	4月	8月	7月
真美ヶ丘第一小学校開校	町民憲章、町の木、町の花、町歌、町音頭制定	第二代町長に岡本盛蔵氏が当選	馬見・百済・瀬南・箸尾の四農協が合併、広陵町農業協同組合発足	「広陵町史」刊行	池尻・藤森が分町、大和高田市へ編入合併
昭和57年	昭和50年	昭和44年	昭和43年	昭和38年	昭和32年
5月	6月	3月	8月	9月	9月
第四代町長に服部融氏が当選	北小学校竣工	中央公民館竣工	広陵健民運動場竣工	東小学校竣工	箸尾町が広陵町へ編入
昭和55年	昭和49年	昭和43年	昭和42年	昭和37年	昭和31年
4月	5月	10月	9月	8月	5月
交通公園竣工	老人福祉センター、中央体育館竣工	広陵町商工会発足	広陵健民運動場竣工	東小学校竣工	初代町長に池端若松氏が当選
昭和54年	昭和48年	昭和42年	昭和41年	昭和36年	昭和30年
2月	4月	4月	4月	5月	4月
公共下水道事業着手	真美ヶ丘ニュータウン起工式	真美ヶ丘第一小学校竣工	馬見・百済・瀬南・箸尾の四農協が合併、広陵町農業協同組合発足	第二室戸台風上陸、町内に大きな被害	広陵町発足（馬見町・瀬南村・百済村が合併）

昭和30年4月、馬見町・瀬南町・百済村の合併によって、広陵町が誕生しました。培われた各地域の文化に、ひとつになった地域として新たに築き上げた文化が加わり、歴史は日々更新されていきます。広陵町の歩みを振り返ってみましょう。

2005	2000	1995
平成19年	平成12年	平成7年
2月	6月	10月
クリンセンター広陵竣工	第二次広陵町総合計画策定	与楽寺十一面観音立像発見
平成17年	平成11年	平成8年
4月	7月	4月
金メダルの塔・金メダロード設置	竹取公園が建設省「手作り郷土賞」受賞	町内全小学校へパソコン設置
平成16年	平成10年	平成9年
8月	8月	4月
野村忠宏氏オリンピックアテネ大会柔道で金メダル、日本人初のオリンピック三連覇達成	第一回広陵町小学生広島平和使節団が平和祈念式典に参列	広陵町勤労者総合福祉センター（サン・ワーク広陵）竣工
平成15年	平成9年	平成8年
2月	9月	4月
役場庁舎福祉設備整備工事	野村忠宏氏オリンピックアテネ大会柔道で金メダル	町内全小学校へパソコン設置
平成14年	平成8年	平成7年
4月	8月	10月
東小学校改築竣工	箸尾駅前町営駐車場竣工	かぐや姫ホール竣工
平成13年	平成7年	平成6年
5月	4月	5月
総合保健福祉会館「さわやかホール」竣工	南郷環濠集落が建設省の「甕の水百選」に認定	竹取公園開園
平成12年	平成6年	平成5年
4月	6月	8月
新「広陵町史」発刊	第二次広陵町総合計画策定	広陵金明太鼓発足
平成11年	平成5年	平成4年
7月	7月	5月
第六代町長に平岡仁氏が当選	竹取公園が建設省「手作り郷土賞」受賞	真美ヶ丘体育館完成
平成10年	平成4年	平成3年
4月	4月	5月
美山古墳で日本最古級の四世紀末の木製埴輪出土	野村忠宏氏オリンピックアテネ大会柔道で金メダル	第五代町長に林田孝一氏が当選





This is the color of Koryo.



広陵町は、「みなさんと共に『いい町』づくり」をスローガンに、地域と行政が一体となって、共に成長・発展できる「協働のまちづくり」を目指しています。
 まちを構成するのは人です。人と人の絆を大切に、コミュニティが形成されているまちは住みやすいまちだといえます。本町の魅力のひとつは、まさに人であり、互いを思いやる住民同士の関係性です。この安心して暮らせるコミュニティと整った教育環境、緑豊かな

な景観を評価していただき、全国的に少子化が進む中でも、本町は人口が増加しています。

さらに、保育所の待機児童ゼロ、子ども園の開園、中学校の完全給食など、女性が働きやすく子育てしやすい環境を積極的に整え、高齢者が健康に暮らせるように介護予防活動を支援するなど、子どもから高齢者までが、のびのびと笑顔で暮らせるまちづくりを進めています。

この度4年ぶりに町勢要覧を改訂いたしました。町は常に変化しています。しかしベースに流れる人のやさしさや心の豊かさは変わりません。本要覧を通して、広陵町の魅力を感じていただければ幸いです。

広陵町長 山村吉由



町をもっと
大好きに(∩∩)

広陵町役場

検索

<http://www.town.koryo.nara.jp>



役場の開庁時間／午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 ※土・日・祝日を除きます

編集発行／広陵町役場（秘書人事課 広報担当）

奈良県北葛城郡広陵町大字南郷 583 番地 1

TEL.0745 (55) 1001 / 0745 (57) 0001 FAX.0745 (55) 1009

Eメール / info@town.koryo.nara.jp



この用紙は再生紙を使用しています。
環境負荷が少ない植物油インキを使用しています。

Fontworks
UD FONT